

基本方針 多核連携型のまちづくりを支える交通戦略 —都心アクセスの強化—

① 都心方面を結ぶ公共交通のサービス強化と利用促進

①取り組みの方向性

- 都心方面を結ぶ公共交通の運行本数、所要時間、終発時刻などのサービスをより強化し、過度な財政負担なくそのサービスを維持するための利用促進を図ります。
- 自動車からの転換を促進することで、道路混雑の緩和によるバスの定時性向上を図ります。

②取り組みの考え方

これまで都心アクセス強化の取り組みとして、路線バスの最終ダイヤを鉄道と同様の時刻に設定した「夜バス」の運行や JR 越後線の増便社会実験やなど様々な取り組みを進めてきましたが、自動車分担率は平成 28 年に 7 割を超え、自家用車の依存度は増加し、10 年前より市内の道路における混雑時旅行速度が低下しているほか、CO₂ の排出量も政令市でワースト 1 位となっています。

一方で公共交通（鉄道・バス）の分担率は調査以来、初めて増加に転じるなど、これまでの取り組みの効果が徐々に現れてきたものと認識しています。

今後もさらなる公共交通の利用促進に向け、これまでの取り組みを継続するとともに、鉄道では、第 3 回新潟都市圏パーソントリップ調査総合都市交通計画で鉄道利用圏域の拡大を図るために設置が有効であると提案されている（仮称）上所島駅、（仮称）二本木駅の設置に向けた検討や羽越本線・白新線の高速化・新幹線整備に向けた要望活動などを促進します。

また、バスについても、これまでの取り組みを継続しながら、今後はソフト面のサービス強化として、情報案内サービスや Niigata City Wi-Fi などの質の向上に努め、利用促進を図ります。

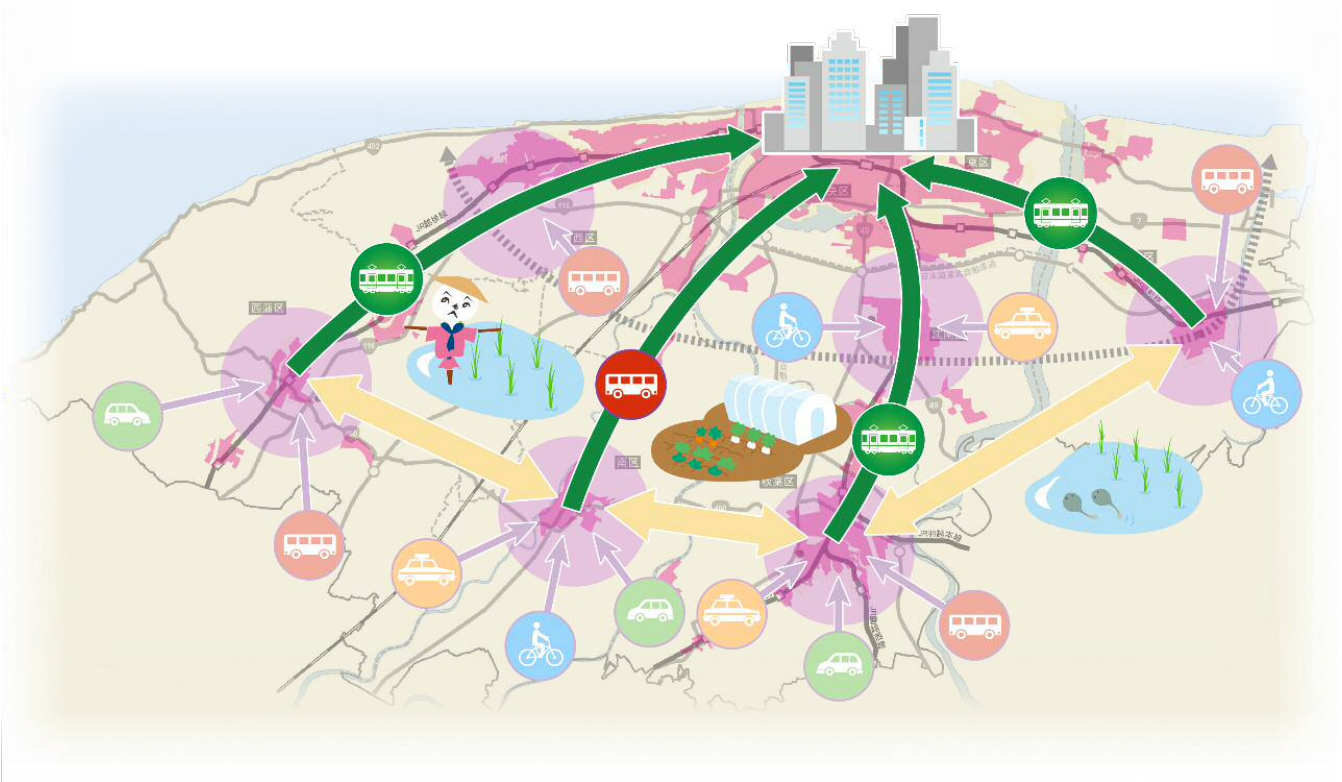
特に、県内都市間高速バスについては、利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、利用促進策を講じるとともに、事業者による自主運行が厳しい場合、代替策の検討及び行政による運行や支援を連携して行います。

10 年前に比べ、都心へのアクセス道路の混雑時旅行速度は低下していることから、万代島ルート線など都心部への通過交通抑制に資する道路整備を引き続き促進し、道路混雑の緩和によるバスの定時性向上に取り組めます。

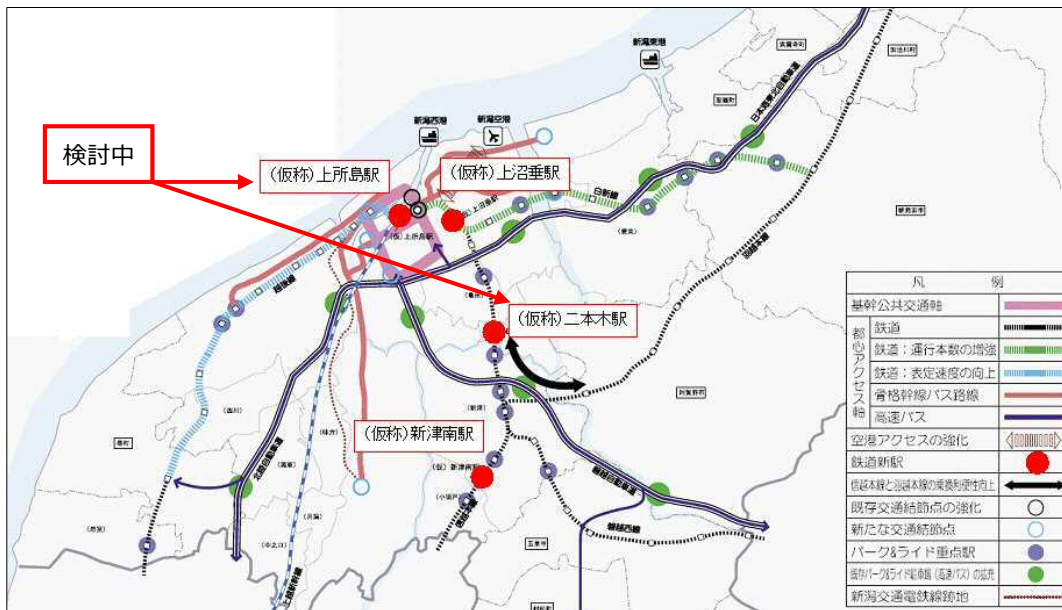
③ 具体的な取り組み案

- 新たな鉄道駅の設置検討
 - 羽越本線・白新線の高速化促進
 - 路線バスの都心アクセス強化
 - 広域交通（県内都市間高速バス）維持
 - Niigata City Wi-Fi や多言語化サインの整備促進
 - 幹線道路の整備促進
- など

[都心方面を結ぶ公共交通サービス強化のイメージ]



[新駅設置候補箇所]



出典：第3回新潟都市圏パーソントリップ調査報告書（平成17年3月）を基に加筆

② 鉄道・バス・タクシー等の交通手段間の役割分担と結節強化

① 取り組みの方向性

- 都心方面を結ぶ幹線的な交通としての鉄道・バス及び、それにアクセスする交通としてバス・タクシーを中心に自転車・自家用車等を含めた役割分担を図ることにより、公共交通の輸送効率向上及び運行頻度増加を検討するとともに、各交通手段間の結節強化を図ります。

② 取り組みの考え方

平成 29 年度に実施した「市政世論調査」では、市民の約 8 割が「自動車に頼らなくては移動しにくいまち」と感じているほか、全国的な課題となっているバス運転士不足などに対応するため、路線バスからデマンド交通、乗合タクシーへの転換や路線バス運行区間と重複している目的バスとの統合など、社会情勢や市民ニーズを踏まえながら、バス・タクシー・自転車・自家用車などを含めた役割分担の検討を行います。

鉄道・バス・タクシーなどの結節強化では、新潟駅南口広場や白山駅前広場などの整備を行った結果、白山駅ではバス利用者が約 5 倍増加するなど、鉄道との乗り換えのしやすさは向上しています。

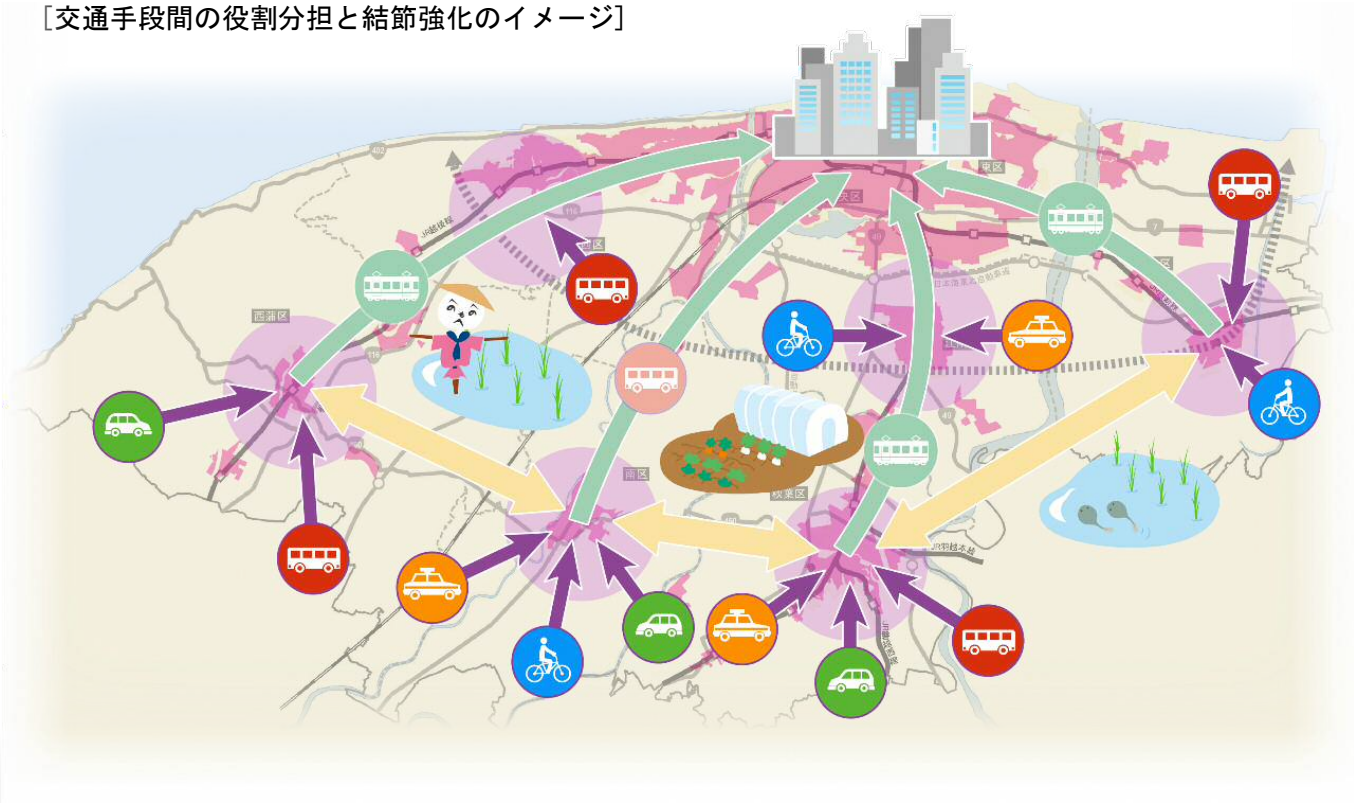
今後も新潟駅周辺整備事業を始めとした、各交通結節点での結節強化を引き続き継続するほか、鉄道利用圏域の拡大を図るパークアンドライド駐車場の整備を推進し、公共交通全体の結節機能強化を図ります。

「新潟市自転車利用環境計画」に基づく自転車走行空間ネットワークの構築については、平成 29 年度末時点で 64.3km、まちなかの自転車駐輪場の整備については 951 台と計画目標を着実に達成しており、引き続き整備を促進するとともに、自転車と公共交通との結節を強化するサイクルアンドライドなどの整備手法について検討を進めます。

③ 具体的な取り組み案

- 交通手段間の役割分担の検討
 - 交通結節点の整備・利便性向上
 - パークアンドライド駐車場の整備促進
 - 自転車走行空間ネットワークの整備促進
 - 駐車場整備計画見直しの検討
- など

[交通手段間の役割分担と結節強化のイメージ]



[パークアンドライド駐車場の整備促進]



JR 巻駅パークアンドライド社会実験の様子



JR 新津駅パークアンドライド社会実験の様子

③ 災害に強く、健全な社会活動や渋滞緩和等に必要な道路の整備

① 取り組みの方向性

- 多核連携型の都市を支え、自動車交通の適正な誘導や災害・渋滞対策となる道路整備を推進します。

② 取り組みの考え方

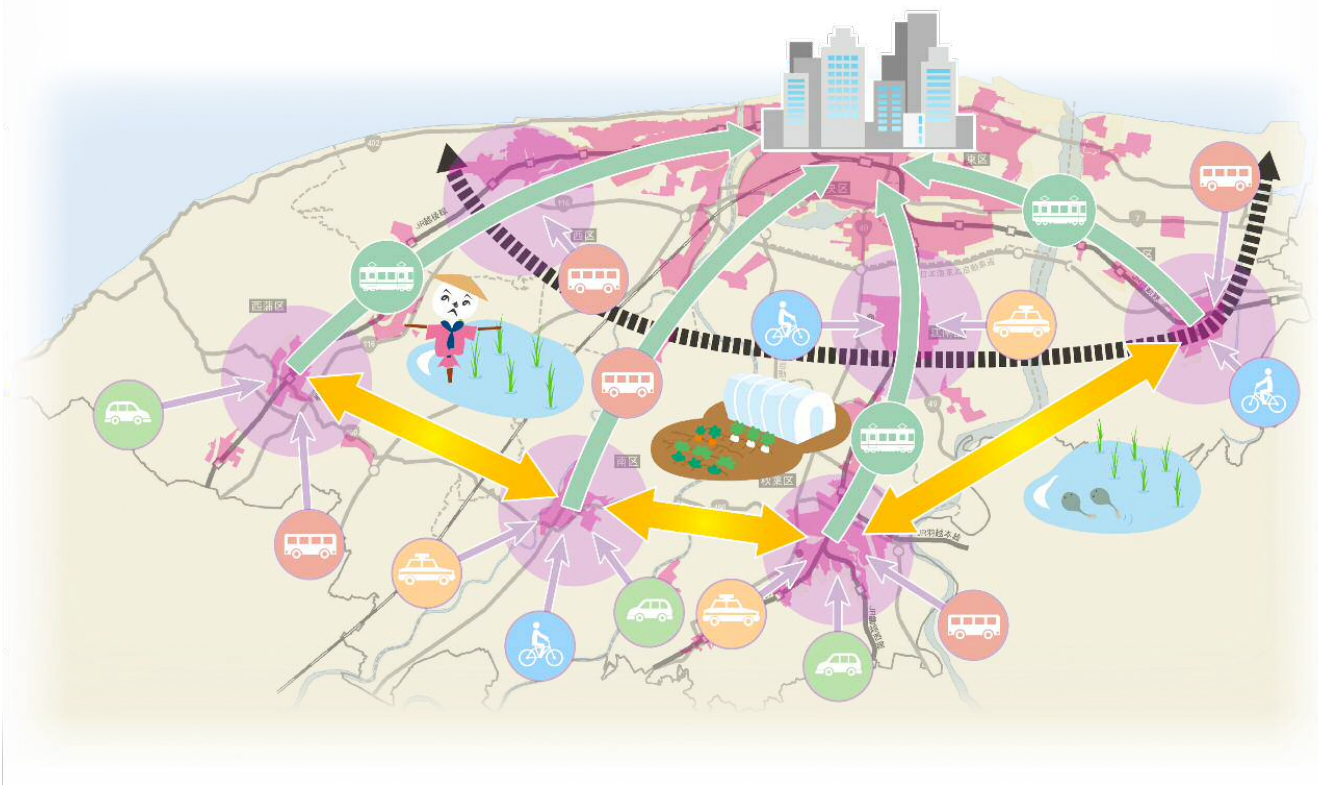
これまで、本市が目指す多核連携型の都市構造を支える放射環状道路網の形成や都心及び都心周辺部のアクセス性を向上させる観点からスマートインターチェンジなどの整備に取り組んできましたが、平成 29 年度に実施した「交通環境に対する市民意識調査」では、10 年前と比べ、自家用車による「都心部への移動時間」、「道路の混雑状況」について半数以上が「変わらない」と回答していることから、引き続き放射状道路の機能強化や環状道路の整備促進に努めます。

さらに、災害時における円滑な交通の確保や迅速な復旧・復興を支えるため、引き続き、「新潟市国土強靱化地域計画」に基づき、緊急輸送道路の機能確保、整備促進に取り組み、円滑で災害に強い道路ネットワークの構築に努めます。

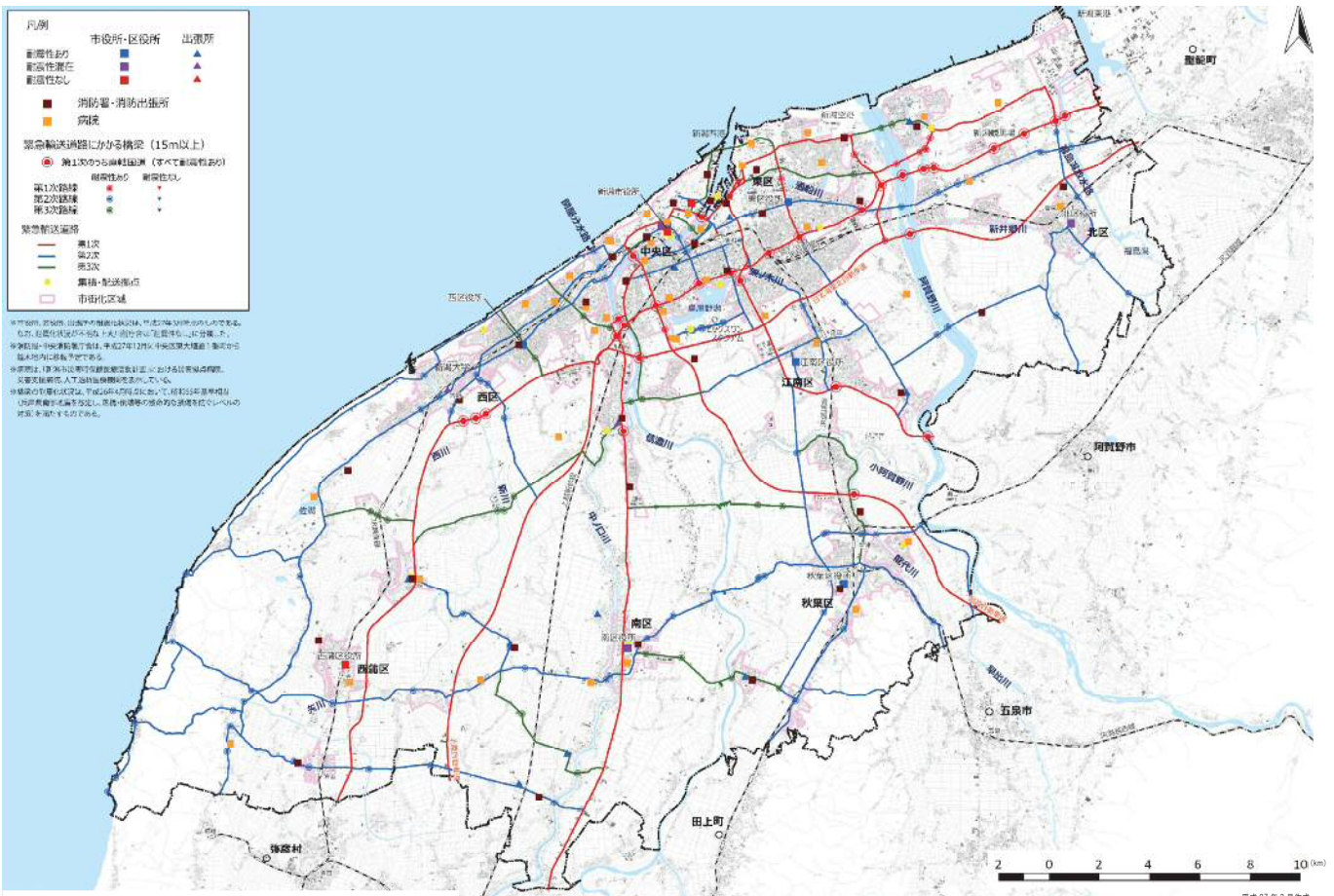
③ 具体的な取り組み案

- 幹線道路の整備促進（再掲）
- 緊急輸送道路の機能確保、整備促進
- 交通安全対策の推進 など

[幹線道路の整備促進イメージ]



[緊急輸送道路の機能確保、整備促進]



出典：新潟市国土強靱化計画（平成27年3月）

④ 地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携

① 取り組みの方向性

- 利便性の高い公共交通サービスの享受と利用促進の観点から、適正な土地利用を誘導することでまちづくりと連携を図ります。

② 取り組みの考え方

本市では、将来にわたり持続可能な都市構造の実現を図るため、「新潟市立地適正化計画」を平成 29 年 3 月に策定し、緩やかな土地利用の誘導を図っています。

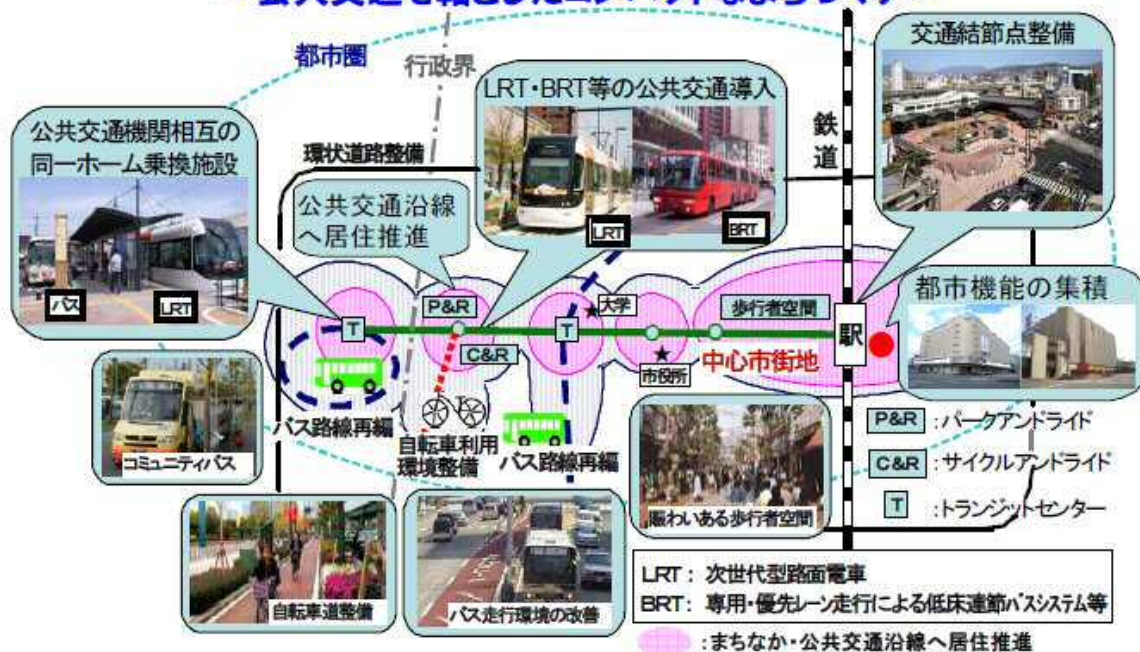
今後、急速に進む人口減少、少子・超高齢化社会に対応するため、公共交通で都心部やそれぞれの地域拠点間を円滑にアクセスすることができる各区中心部への居住を引き続き緩やかに誘導しながら、持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークの実現を図ります。

また、平成 29 年度に実施した「交通環境に対する市民意識調査」では、10 年前と比べ「歩行時の快適性、安全性」について半数以上が「変わらない」と回答していることから、歩行者等にとって安全性の高いまちづくり、さらには、まち並の連続性確保に努めます。

③ 具体的な取り組み案

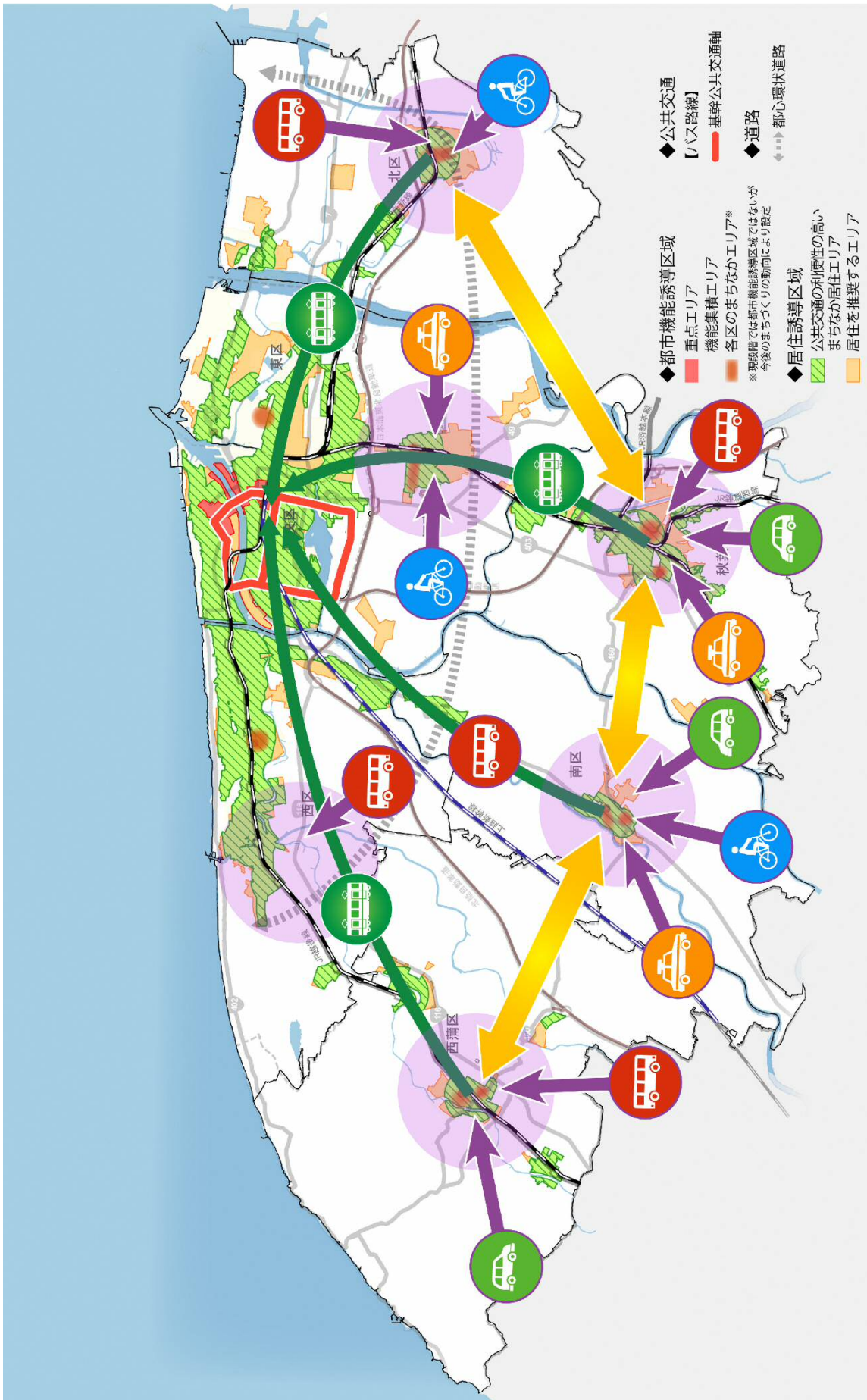
- 各区中心部への居住誘導
- 駐車場整備計画見直しの検討（再掲） など

総合的な交通連携の施策・事業の展開イメージ
～公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり～



出典：国土交通省

[まちなかへの居住・施設立地誘導との連携イメージ]



出典：新潟市立地適正化計画（平成 29 年 3 月）を基に加筆

⑤ 土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成

① 取り組みの方向性

- 都市機能誘導施策と連携し、基幹公共交通軸を形成します。

② 取り組みの考え方

基幹公共交通軸の形成に向け、平成 27 年 9 月に B R T ・新バスシステムを導入し、この結果、萬代橋ラインの定時性目標達成率は 95.9%（平成 29 年 9 月）と高いほか、平成 28 年度に実施した新潟市内都市交通特性調査では、本市全体の自動車分担率は約 71%であったのに対し、基幹公共交通軸沿線では約 45%と低く、公共交通・自転車・徒歩の利便性及び高いサービスレベルが確保されつつあります。

この高いサービスレベルをさらに充実させる B R T ・新バスシステムを今後も継続しながら、基幹公共交通軸の段階的な整備を推進します。

土地利用については、基幹公共交通軸沿線の多くの人々やモノが集まる好循環を生み出す都市機能誘導区域に都市機能施設を誘導するとともに、鳥屋野潟南部開発計画の促進などに取り組みます。

③ 具体的な取り組み案

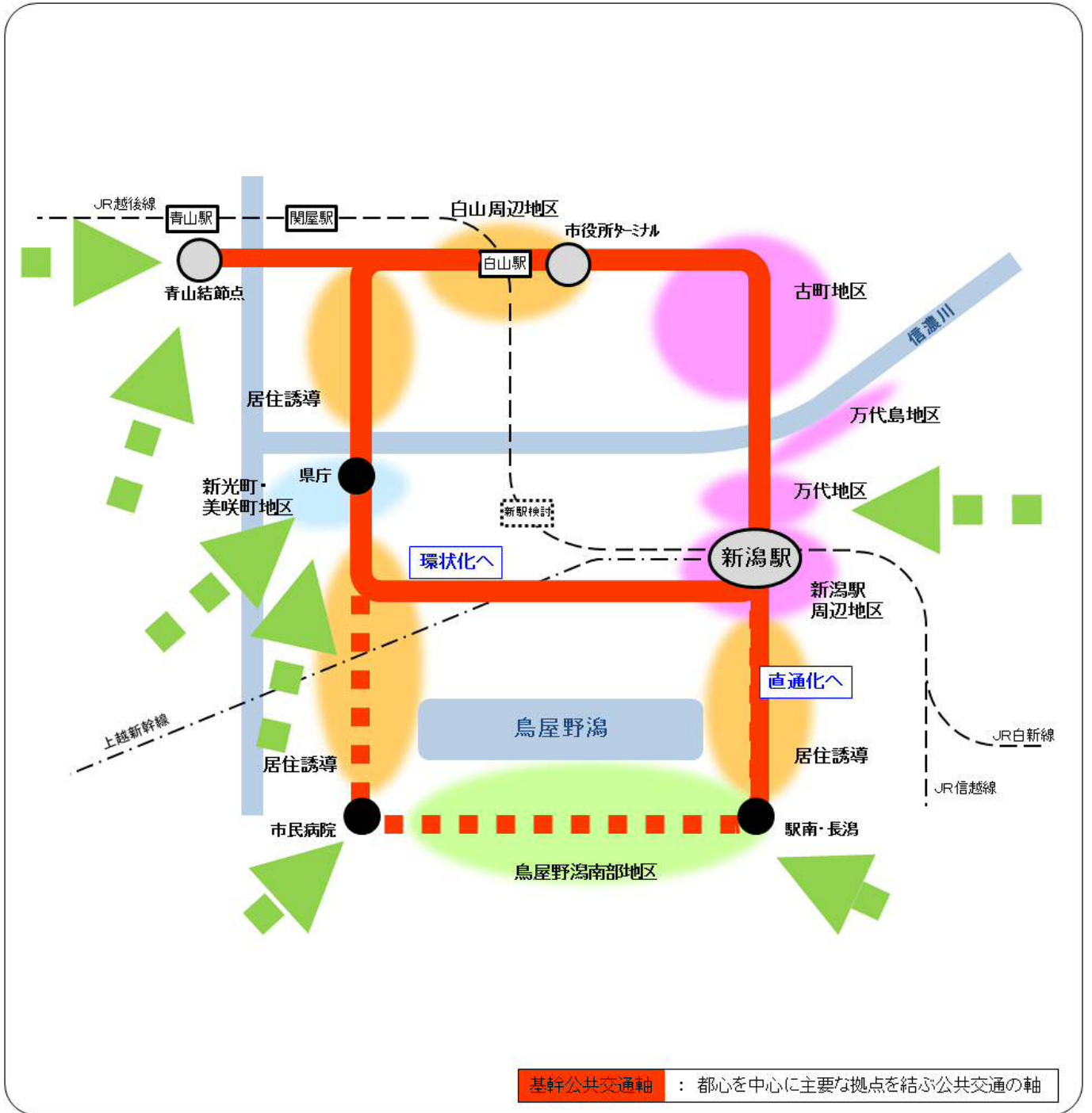
- 基幹公共交通軸の段階的整備の検討
- 都心軸沿線における都市機能誘導
- 鳥屋野潟南部開発計画の促進 など

[基幹公共交通軸沿線への機能集積のイメージ]



出典：新潟市立地適正化計画（平成 29 年 3 月）を基に加筆

[基幹公共交通軸の段階的整備のイメージ]



⑥ 広域交通と二次交通が連携した主要拠点間のアクセス強化と周遊促進

① 取り組みの方向性

- 広域交通拠点（新潟空港、新潟駅、新潟港）と、都心部及び基幹公共交通軸沿線主要拠点の連携を強化するため、バス等の二次交通を充実し、来訪者や観光客といった交流人口の拡大を図ります。
- 新潟駅周辺整備事業を促進し、その効果を最大限発揮するとともに、各交通手段の結節を強化します。
- 低未利用地の活用や交通ターミナル機能の充実、情報発信力の向上など、広域交流の玄関口としての充実を図ります。

② 取り組みの考え方

本市の玄関口である新潟駅は、平成30年4月に高架化第1期開業を迎え、上越新幹線と在来線の同一ホーム乗り換えが可能となり、利便性向上による日本海国土軸の強化や踏切除却による安全性・利便性の確保が図られました。

引き続き、全面高架化に向け、事業を推進しながら、南北市街地の一体化、高架下空間の有効利用、区画道路の整備を図るとともに、万代広場及び高架下交通広場の整備を促進し、各交通手段の結節を強化します。

また、現行の戦略プランの事後評価より、広域交通（駅、港、空港）と都市内交通の連携が課題となっているため、来訪者や観光客といった交流人口の拡大を図る取り組みとして、引き続き新潟駅と空港、港へのアクセスの維持・改善に努め、情報発信力の向上など、広域交流の玄関口としての充実を図ります。

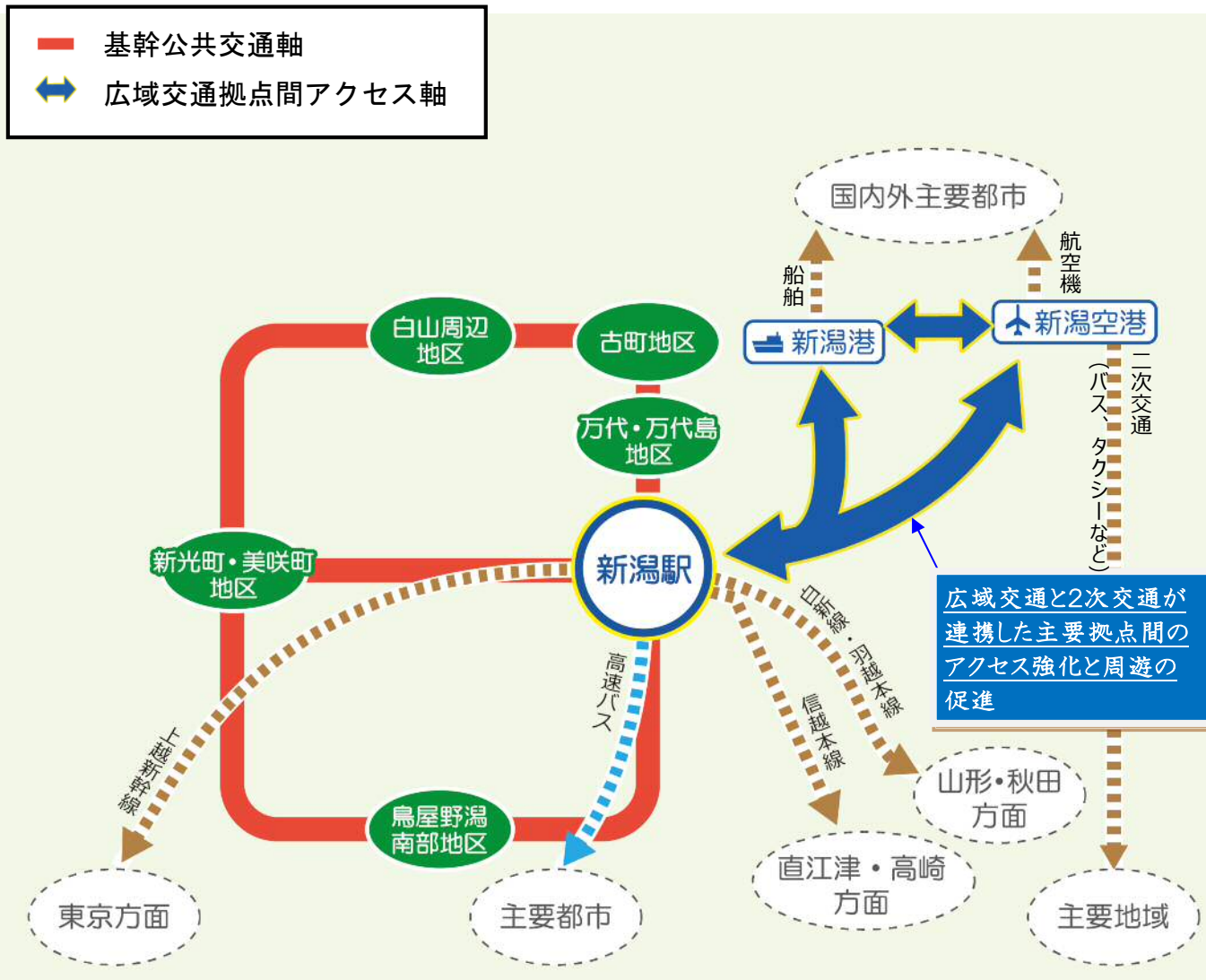
さらには全国幹線鉄道網の一翼として、日本海国土軸の形成に必要な羽越本線・白新線の高速化・新幹線整備の要望活動を今後も継続して行い、新潟駅高架化の効果を最大限発揮する取り組みを進めます。

ソフト面での取り組みとして、一部の公共交通機関や拠点施設で設置されている Niigata City Wi-Fi の設置エリアの拡大を推進するとともに、多言語化サインなどの整備を促進し、分かりやすく、行きやすい交通環境整備に取り組みます。

③ 具体的な取り組み案

- 新潟駅高架化全面開業に向けた整備の促進
- 新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備促進
- 空港アクセスの改善
- 羽越本線・白新線の高速化促進（再掲）
- Niigata City Wi-Fi や多言語化サインの整備促進（再掲） など

[広域交通と2次交通の連携イメージ]



[万代広場完成イメージ]



※ ペDESTリアンデッキ (2階レベルの通路) については、社会情勢の変化を見ながら検討していきます。
 ※ 今後の検討・協議により変更の可能性があります。

出典：新潟駅周辺整備事業 (2018年5月 Ver.11)

⑦ 多様な手段による回遊性向上と結節強化

① 取り組みの方向性

- 新潟駅周辺整備事業により、駅南北間を結ぶ道路整備やバスの運行により、古町、万代地区と鳥屋野潟南部開発地区など新潟駅南北間の回遊性を向上します。
- 新潟駅周辺整備事業により、鉄道とバス、自転車、徒歩等の結節を強化します。

② 取り組みの考え方

新潟駅周辺整備事業を引き続き推進し、新潟駅南北間を結ぶ道路整備を図るとともに、バス路線を再編するなど、回遊性の向上を検討します。

自転車が安全に快適に走行できる空間整備を図るとともに、フィーダー交通としての自転車走行空間ネットワークの構築及びサイクルポートも含めた駐輪場整備について引き続き検討を進め、交通結節点との接続強化に取り組みます。

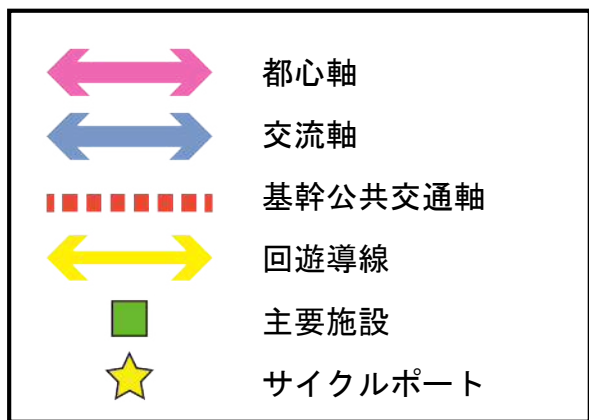
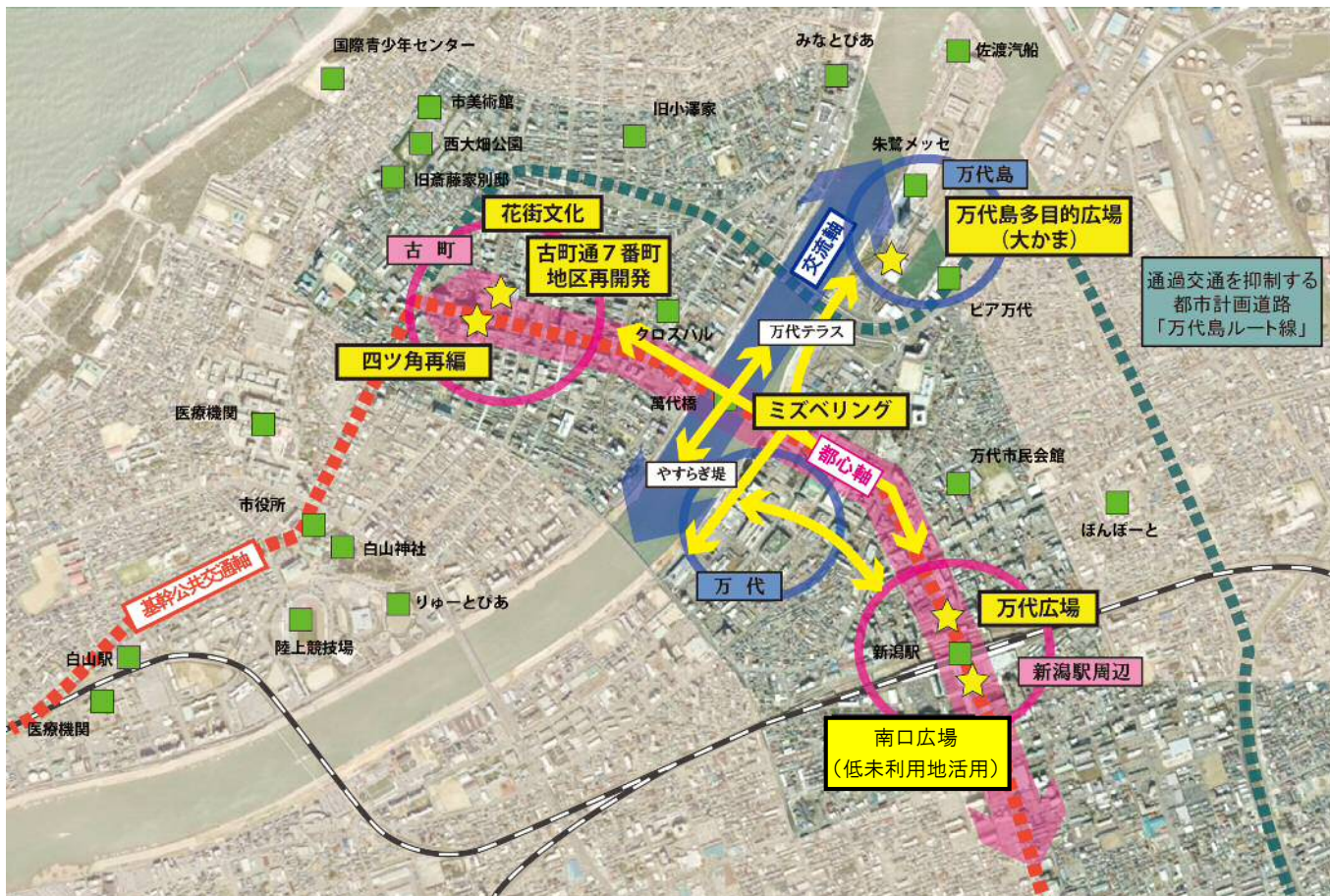
このほか、水運を活用した回遊性の向上を検討することにより、全ての利用者が多様な交通手段を選択できるまちづくりに取り組みます。

さらに、「交通環境に対する市民意識調査」では、「歩いて楽しい賑わいのある空間整備を進めてほしい」との回答が約9割と高いため、新たに新潟駅から万代シテイ・萬代橋・古町・万代島までの既存道路空間を歩行者優先に「歩いて楽しい」と思える賑わいのある空間へと創出するための検討を進めます。

③ 具体的な取り組み案

- 新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備促進（再掲）
 - 自転車走行空間ネットワークの整備促進（再掲）
 - 新潟駅周辺、万代、古町地区の駐輪場整備促進（再掲）
 - シェアサイクルの推進
 - 水運を活用した回遊性向上
 - 歩いて楽しい賑わいのある空間整備の検討
- など

[まちなかの回遊促進イメージ]



⑧ 都心部への通過交通抑制に資する道路の整備

① 取り組みの方向性

- 都心部に流入する通過交通の抑制に資する道路整備を推進します。

② 取り組みの考え方

平成 29 年度に実施した「市政世論調査」では、市民の約 8 割が「自動車に頼らなくては移動しにくいまち」と感じていることから、都心部への通過交通抑制に資する新潟駅周辺幹線道路の整備などを継続するとともに、一般国道 7 号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び、広域交通と都心地区の連携強化を図ることを目的とした、地域高規格道路「万代島ルート線」の整備を引き続き促進し、公共交通、自転車、歩行者を優先した都心づくりに資する道路整備を推進します。

③ 具体的な取り組み案

- 万代島ルート線の整備（再掲）
- 新潟駅周辺整備地区の幹線道路の整備促進 など

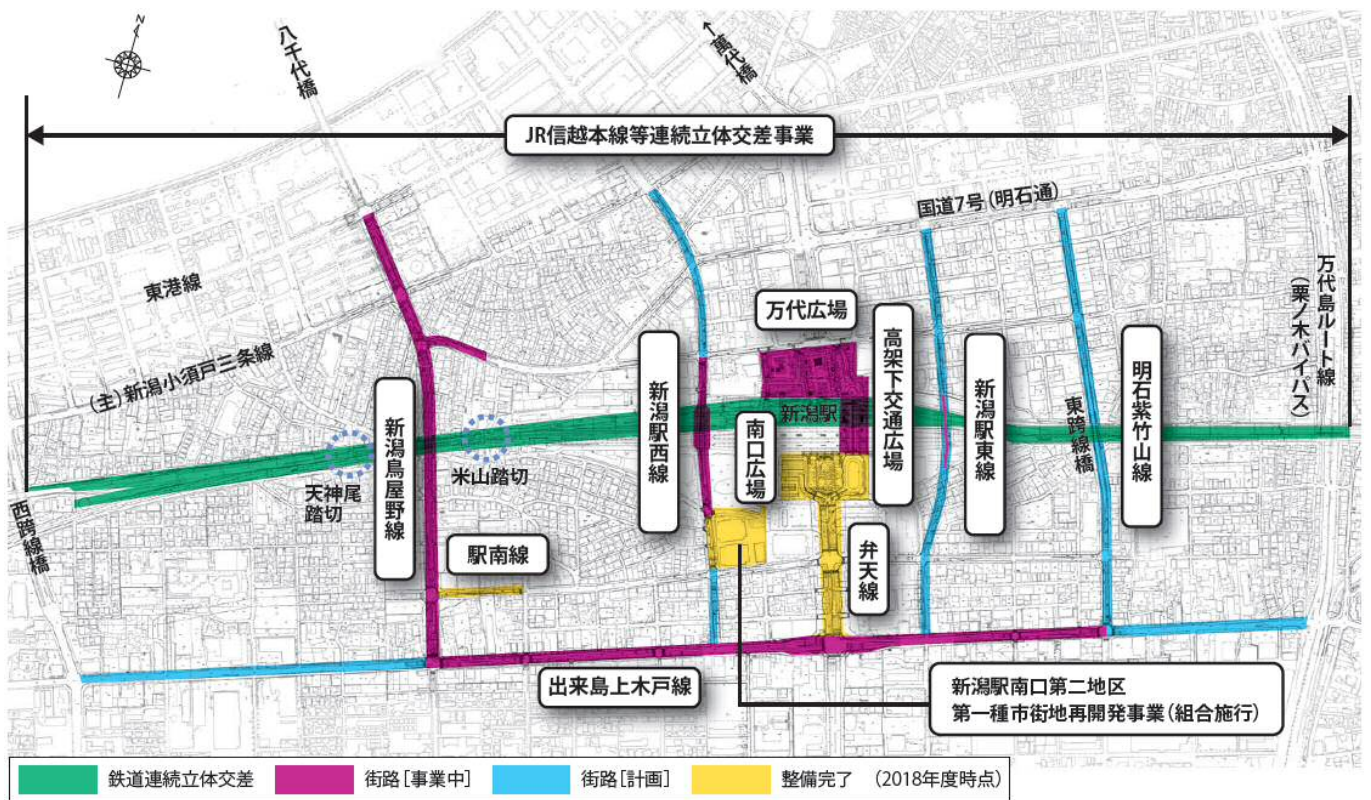
[通過交通抑制に資する道路の整備]



— 基幹公共交通軸
- - - 都市計画道路
— 万代島ルート線

Copyright(c) N T T 空間情報 All Rights Reserved

[新潟駅周辺幹線道路整備 位置図]



出典：新潟駅周辺整備事業（2018年5月 Ver.11）

[栗ノ木道路・紫竹山道路整備 事業位置図]



出典：新潟国道事務所